

東議員（民主県政会）

令和3年2月26日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）安芸高校、呉昭和高校の募集停止のタイミングについて

教育長は記者会見で、募集停止のタイミングについて「限られた人材や財源で教育の質を維持し、各校の活力を高めるためのギリギリのタイミング」と説明された。

2月3日の入学者選抜Ⅰが迫った1月15日の教育委員会議での提案・決定はあまりにも突然過ぎると考えるが、教育長の言う「ギリギリのタイミング」とは何がギリギリなのか、教育長に伺う。

（答）

前回、平成22年度の白木高等学校及び大和高等学校など、従来の募集停止の際には、当該年度入学定員を公表する直前の6月から8月の間に決定・公表しており、その年度の4月に入学した生徒が、下級生が入学しないという事実を後から知ってしまうという状況が生じていました。

このため、翌年度、高等学校に入学する中学校3年生が志望校を決定する前に早期に公表できるよう検討を進めた結果、1月中旬になったところであり、こうしたことについて、申し上げたものでございます。